

第65回徳島県社会福祉大会

令和3年11月26日、徳島グランヴィリオホテルにおいて「第65回徳島県社会福祉大会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席者を各表彰区分の代表者に限定しました。永年にわたり社会福祉の推進に功績のあった方々に敬意と感謝の意を込めて表彰するとともに、本年は、社会福祉法制定・徳島県社会福祉協議会創設70周年という節目の年であり、コロナ禍においても「誰もが、身近な地域で、その人らしく、安心して生き生きと暮らすことのできる福祉社会の実現」に向け、具体的な取組を進めることを大会宣言として採択しました。

栄えある表彰並びに感謝状を受賞された皆様にご心からお祝い申し上げますとともに今後益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

(主催：徳島県/徳島県共同募金会/徳島県福祉基金/徳島県社会福祉協議会)



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp https://fukushi-tokushima.or.jp/



【被表彰者・感謝状被贈呈者】 被表彰者数 342名・69団体、感謝状被贈呈者数 1名・3団体

名誉大会長表彰 (知事表彰)

- ◆民生委員・児童委員功労者 46名 ◆社会福祉事業功労者 55名
- ◆ボランティア功労者・団体 27名・14団体

大会長表彰 (県社会福祉協議会会長表彰)

- ◆民生委員・児童委員功労者 69名 ◆社会福祉事業功労者 96名
- ◆ボランティア功労者・団体 27名・17団体 ◆自立生活の模範となる者 4名

大会長感謝 (県社会福祉協議会会長感謝) ◆1名・2団体

大会長表彰 (県共同募金会会長表彰) ◆個人 18名 ◆地区・団体 38団体

大会長感謝 (県福祉基金理事長感謝) ◆1団体



とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345
e-mail: info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
休館日/月曜日 (祝日の場合はその翌日、年末年始)



NPO法人 自然派志向 NATURAL & NATURE

「みんなでいろいろ経験しながら成長していこう!」というコンセプトのもと、子どもたちが生きる力を養うための体験活動を提供しています。



ささき みき
★佐々木 美紀さん



子どもが好きで、保育の仕事がしたいと思っていた私は、スタッフのお手伝いをするという形で、活動に参加するようになりました。

予期せぬ状況に出くわすと、どう対応したらいいかわからないことがあるので、絶えず振り返りながら、次の機会に活か

せるようにしています。経験を積むうちに、「これはこうしたい!」と意思表示できるようになりました。今後は、幼少期の子もだけでなく、思春期の子もへの関わり方を学んで、寄り添えるようになりたいと思っています。



高校生以上を対象に、就労を目的に働く練習をする事業

子どものための農業体験事業の管理をしたり、「自然派志向」で育てた作物や作った商品を販売してお金に換える体験など。

くわさか あんな
★桑坂 杏奈さん

大学で学んだ教育現場の実態では、子どもに深く関わることができず感じていたときに、「自然派志向」に出会いました。ここでは一人ひとりと深く関われるし、大事なことを伝えられる環境だと感じます。

私自身、子どもと一緒に新しいことを経験するうちに、挑戦することの怖さを感じなくなりました。それは、知らないことを知る楽しさを知ったからだと思います。子どもたちにも、同じように、挑戦する楽しさを伝えていきたいと思っています。



特定非営利活動法人

自然派志向

NATURAL & NATURE

ワクワクがとまらない
子どもたちの居場所、
自然派!(^^)!

えにし けんたろう
理事長 江西 憲太郎さん

僕が大学生のときの教育実習で担当したのが6年生のクラスでした。そこで目にしたのは、規律の低下した児童や保護者の様子と、その対応に疲弊する先生方の姿でした。それを見て私は、先生の立場ではできないことをして、何とかバックアップができないかと考え、この団体を立ち上げました。自らイベントを実施し、参加した子どもたちに経験を通して社会のルールを学んでもらおうと思ったんです。子どもたちは、時に叱られることもあります。しかし、叱られて落ち込む気持ちより、イベントが楽しかったという気持ちが少しでも大きかったら、納得すると思うんです。遊びや体験の中で言われたことのほうが心に残り、ルールも守れるようになる。そうやって、社会で生きていくための力を身につけてほしいと思います。

子どもたちは、教えたことよりも感じたことのほうがよく吸収します。いけないことをしたときは大人がガツンと怒ってあげることで、それを感じ取った子どもは伸びていくものです。

「自然派志向」へやってきた子に対して、私たちは一期一会の気持ちで悔いのないように全力で関わることしかできません。寂しいけれど私たちと離れてしまった後は、その子がここで経験したことを活かして成長してくれる

ことを願うだけです。

大人の生き方は、もっとかっこよくあるべきです。子どもに対して見栄を張ることにより、「大人っていいなあ」「かっこいいなあ」「早く大人になりたいなあ」「そのために頑張ろう」と思われるようにならないと、子どもは成長したいと思いません。そんな思いや考えを全世界に広めるのが、僕の「世界征服」なんです。その考えが広まったら「自然派志向」は必要なくなり、そこでおしまい。僕は、ラーメン屋をして余生を過ごします(笑)。



特定非営利活動法人
自然派志向 NATURAL&NATURE

〒773-0017
徳島県小松島市立江町字北城13番地
電話 090-8284-0954
FAX 0885-38-2750
メール shizenhashiko@ezweb.ne.jp



体験するイベント

体験活動から生きるすべを学ぶ事業

- **体験スクール**
様々なイベントを通して、体験し学ぶことに重点を置いた活動
→潮干狩り、タケノコ掘り、田植え、餅つきなど。
- **アクティブ**
体験スクールよりも難易度の高いイベントをする活動
→魚釣り、スケート、登山、スノーボードなど。

はら のりこ
★原 典子さん



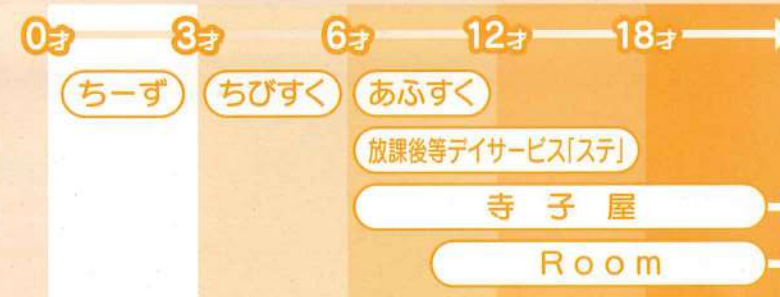
大学生のとき、先輩に誘われてイベントに参加したのが、「自然派志向」と関わるようになったきっかけです。基本的に子どもの自由にさせて、自分も楽しみながらやっていく。そういう「自然派志向」の方針にとっても惹かれました。

子どもがいけないことをしたら叱ることもあります。ここに来て間もない頃は、叱ることが苦手でも子どもにも正しく伝わりませんでした。今もずっと伝え方を考え続けています。

これからは、今よりもたくさんのボランティアの人に来てもらい、みんなが一体になって楽しめるイベントを開催したいと思っています。

「困り感」を持つ子どもたちの社会生活を支援する事業

「自然派志向」が安らぎの場所となり、基本的な生活習慣や社会性の獲得を目指す事業



- **ちーず・ちびすく・あふすく**
幼児や、放課後の児童・生徒を対象とした活動
様々な年代の人と関わり、社会性を獲得することを目標にしている。
- **放課後等デイサービス「ステ」**
社会性の獲得と日常生活のスキル向上を目的に、個別にプランを立て支援する活動
子どもが発達支援を受けながら、放課後の時間を過ごす。
- **寺子屋**
義務教育範囲内の学習を指導する塾のような活動
勉強の仕方やその必要性に気づかせる指導も行っている。
- **Room**
不登校・ひきこもりの子どもが社会に一步踏み出すためのステップとなる場所の提供
家族のようにともに過ごす中で人との関わり方、距離の保ち方を学ぶ。



▲あふすくでドッジボールをする様子



▲ちーずの活動の様子

(取材：篠原・大津)



誰かの役に立つ まちの助っ人



「助けたい×助けられたい」
助っ人プロジェクト

もりもと ひろみち
代表 **森本 博通** さん

E-mail: morimoto.hiromichi1225@gmail.com

今回ご紹介する森本博通さんは、「助けたい×助けられたい」助っ人プロジェクトの代表をしています。森本さんは、就労継続支援施設で勤務していた経験を生かし、障がい者の就労や地域で困っている人を助けようとの団体を設立しました。

新型コロナウイルスの感染が急拡大し全国的なマスク不足となった2020年5月、一般の方から提供していただいた材料で作った布マスクを、より感染対策の必要な妊婦の人に活用してもらうように徳島市に贈呈しました。ただ、このとき「本当に届いているかどうかかわからない。」と感じ「困っている当事者と直接つながりたい。」と強く思ったそうです。

その後、マスク不足は解消。次は、頑張っているけどアルバイトがなくなり生活困窮の打開方法がない留学生のために何かできないかと考え、四国大学の留学生約100名に、食材を届けるボランティア活動を始めました。お米やそうめん、野菜、スープ類を中心に必要な食材を美味しく食べてもらいたいという思いで、友情BOX(専用の段ボール箱)に詰めて、留学生に贈りました。ギフトとして贈っている食材等は、森本さんの人脈で協力をお願いして集めたもので、森本さんの思いに共感し、定期的に寄付してくれる方もいらっしゃいます。森本さんは、留学生たちに贈り主のことを伝え、留学生たちは、お礼の言葉を色紙に書いて贈り主に渡しています。すると、贈り主は実際に留学生のもとに届いていることを実感し、繰り返し食材を提供してくれるようになりました。現在もこの活動は続

いています。温かい気持ちを受けた留学生たちは、「徳島はいいところ」「徳島で働きたい」と思ってくれていますが、徳島県では外国人の働く場がまだまだ少ないのが現状です。

「この活動をずっと続けようとは考えていない。自発的に活動する輪が広がり、自分でもやれることをやってみようと思う人が増えていってくれればいい。自分はあくまでも助っ人で、人と人をつなげる架け橋。自分がしている行動を若者たちが真似てくれれば嬉しい」とおっしゃっています。それは、「誰かのために動いたことが自分に返ってきている。」と感じているからと森本さん。

また、障がい者と企業をつなげることにも力を入れており、「障がい者がベストパフォーマンスを発揮できる仕事に就ければ、企業の人手不足の解消に役立つはず」との信念で、活動しています。

エネルギーな森本さんの原動力は、「困っている人が喜んでくれ、役に立っている実感が得られる。」ことです。このようなつながりが新たなコミュニティをつくり、誰もが安心して暮らしている温かな社会になっていくことを私たちも期待しています。

(取材:北岡・橋本)



新しい生活の補助線#24
「友情BOX
～想いをつなぐ～」



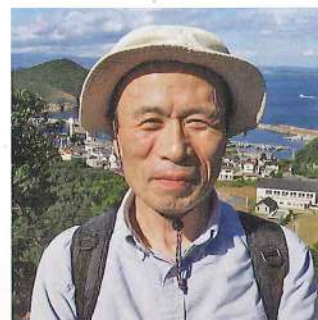
友情BOXを受け取った留学生たち

シリーズ この人から

中山間地農家の「ごまめの歯ざしり」

NPO法人徳島共生塾一歩会 谷口 右也
理事長 たにぐち すけや

現実を受け入れて!



昨年の10月、新型コロナウイルスの感染拡大が一気に沈静化。一歩会も活動の2本柱の1つ「四国遍路の世界遺産化」に向け、活動を本格的に再開。霊山寺でのお接待、まぼろしの遍路道「あずりごえの整備」、親子遍路ウォークなどなど、県民の皆さんに、四国遍路の普遍的な価値に気づいていただき、守っていかうの気運醸成に奔走の日々。

一方で、活動しながら見えてくる中山間地、農村の風景は、ゆっくりではあるが、しかし確実に変化をしている。

山際近くの荒れた農地はもちろん、圃場整備がされた一画で、耕作放棄された田。ツタに覆われてしまった広大な柑橘畑など。

「未来はないかな?」と暗い気分になりかけたとき、廃校を中山間地域の交流拠点施設にした方のお話。「無くなるのも文化、歴史と考へ、新しいものを始めてみれば!」との言葉が、活動のきっかけになったとのこと。

若者を中心に、自己実現ができそうな都市部へ行くのは当然のこと。ならば、そのことを受け入れ、中山間地域に新たなモデルや役割を作ろうと決意も新たに。

実現に向けたモチベーションは、やはり仲間でした。



あずりごえの活動が終わって

「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業

今回は、「ゆめバンクとくしま」への寄付について、お話しします。皆様のご支援をお願いいたします。

●寄付の種類には、次の3種類があります。

- 1 一般寄付
特定非営利活動全般にわたる支援を目的とする寄付
- 2 分野指定寄付
特定非営利活動促進法に掲げる20の活動分野及びこれらの活動に該当する具体的な活動の分野のうち、希望する分野への支援を目的とする寄付
- 3 団体指定寄付
特定の社会貢献活動団体への支援を目的とする寄付(原則として税額控除はできません)

●寄付の方法には、次の2種類があります。

- 1 窓口での寄付
とくしま県民活動プラザの窓口で受け付けています。
- 2 振込による寄付(併せて寄付申出書を提出してください。)
○郵便振替 16210-12956301

○銀行振込

- ・阿波銀行 県庁支店 普通 口座番号 1638245
- ・徳島大正銀行 県庁支店 普通 口座番号 8511965
- ・ゆうちょ銀行 店名628 普通 口座番号 1295630
- 口座名義(共通):特非)とくしま県民活動プラザ
(トクシマケンミンカクプラザ)

●「ゆめバンクとくしま」への寄付は

- 1 個人が寄付をした場合
→ 確定申告をすると、税金の還付を受けることができます。
(寄付金額-2000円)×最大50%
- 2 法人が寄付をした場合
→ 損金算入限度額の枠が拡大されます。
- 3 相続人が寄付をした場合
→ 寄付をした相続財産が非課税になります。



2022年度生(2022年4月1日学習開始)願書受付中! 教育訓練給付制度対象講座 ※「社会福祉学科 一般養成課程(1年コース)」は対象外です。

社会福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年6ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年7ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

～オンライン進学説明会のご案内～

1月23日(日)、2月20日(日)、3月6日(日) どの日程も 10:00~13:00

社会福祉士や精神保健福祉士に興味があり、通信制で資格取得を考えている方へ、上記日程にてWebex(ビデオ会議システム)によるオンライン進学説明会を行っています。事前予約は必要ありません。
※実習該当者は、出願前に必ず進学相談会にご参加ください。
※詳しい参加方法およびWebexの操作方法については、HPをごらんください。



詳しくはこちらからHPをごらんください。

好きを極めてプロになる
徳島県立バティンエ福祉カレッジ
〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10
TEL.087-873-2455

ハートリレー

No.58 川添さんから大下さんへ



認知症の人と家族の会徳島支部 世話人
おおした りつこ
大下 百合子さん

みんなを巻き込む救世主

認知症の人と家族の会 徳島支部の世話人と
してすでに活躍していた百合子さんとお会い、早
6年。認知症の人にやさしいまちづくりを目指し、
認知症地域支援推進員として手探りで活動してい
た私の救世主でした。徳島市の認知症をとりまく
状況について教えてもらい、さらには認知症の人
と家族の会の活動にも誘ってもらい、今の私があ
ると言っても過言ではありません。

認知症の人がいきいきと暮らしていけるよう
にと生みだされるアイデアは多岐にわたります。認
知症の人たちが交流する場をつくってみたり、仕
事をする場をつくってみたりと本当に認知症の人
のことを一番に考えての活動です。一人ひとりの
声をしっかり聴いて、それを活動につなげ、いろ
んな人を巻き込んでいくパワーがあります。また、
認知症の正しい理解の普
及啓発にも取り組まれて
います。

そんなパワフルな百合
子さんとともに、これか
ら認知症の人が暮らし
やすいまちづくりを目標
に活動していければと
願っています。

かわぞえ けいこ
文・川添 圭子



とくしま県民活動プラザ

●プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00
【研修室利用時間】 火曜日～土曜日：10:00～21:00
日・祝日：10:00～18:00
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、
年末年始(12/29～翌1/3)



●公共交通機関をご利用の場合●

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車
「マリンターミナル前」下車すぐ

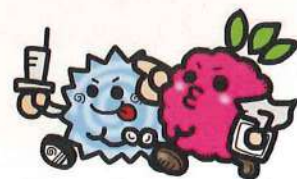
プラザの団体登録についてのお知らせ

団体登録に関する書類(登録申請書・取消書・変更届・
登録証再発行願)の押印が廃止されました。

編集後記

最近私が気になっているのは、植
物性代替肉の大豆ミートです。以前
から気になってはいましたが、今一つ美味しくないと
気がして食べる気になりませんでした。しかし、先日テレ
ビで、美味しそうに食べているのが紹介されていて、牛肉
とほとんどかわらないといひます。今までは食品ロスを出
さない料理を心がけてきましたが、今度は地球温暖化防止
のために、大豆ミート料理を楽しんでみようかと思いま
す。低カロリー低コスト、一石四鳥ですね！ (橋本)

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています！



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

一生、いい歯と付き合うために。
「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会

会長 松本 侯
徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977



『子どもの居場所』づくり ～子どもの育みを地域で見守るVol.4～



こどもっとからふる

地域の支え合いの中で、
子育てについて協力しあう環境を目指して

※詳しくは、下記サイトをご覧ください。



「とくしま子どもの居場所づくり応援サイト」

<https://t-ibasyo.com/>

活動団体紹介



一般社団法人ひとみ学舎

子どもたちの生きる力をサポートする
新しい選択肢 オルタナティブスクール

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
地域福祉課 子どもの居場所づくり推進事業担当
TEL. 080-8633-1657
FAX. 088-654-9250
メール ibasyo@tokushakyo.jp

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和3年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	
	基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金	1,040万円	
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
入院保険金日額	6,500円	
ケガの補償	手術 入院中の手術	65,000円
	保険金 外来の手術	32,500円
通院保険金日額	4,000円	
地震・噴火・津波による死傷	X	O
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)
年間保険料	350円	500円

＜基本プランに加入される方へ＞
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する
死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震
補償プラン」への加入をおすすめします。
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な
事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらか
じめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より
安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



参加団体
募集中!!

HPはこちら↓



吉野川交流推進会議 徳島県庁 未来創生政策課内
TEL: 088-621-2743 FAX: 088-621-2758

日常生活自立支援事業 必要な人に福祉サービスを届ける

私たち一人一人が抱える生活上の問題は、他の人と同じものは一つもなく、個別性をもって表出されます。もし、困ったことが起きたとき、福祉サービスの中で何が利用できるのか、生活がどう変化するのか、適切に判断することは難しいものです。判断能力が十分でなく、自分の状況を理解することが難しい人もいます。

社会福祉協議会では、判断能力に困難を抱える人の福祉サービス利用を支援するために日常生活自立支援事業を行っています。徳島県では、全国でも珍しく契約締結審査会で全件審査を行います。審査会では、法律、医療、福祉、心理などの専門職が県内の事例1つ1つに目を通し、適切な支援の在り方を検討しています。多職種による丁寧な議論が事業を支えているのです。

必要な人に福祉サービスを適切に届けるためには、現金給付や現物給付で「ご自由どうぞ」ではなく、個別の状況を把握しながら、福祉サービスを読み解き、将来起こる変化について情報を伝え、一緒に考えることが必要です。もし、何かお困りのことがあったら、一度、社会福祉協議会にご相談をされてはいかがでしょうか。



徳島大学大学院
医歯薬学研究部
口腔保健福祉学分野
講師

柳沢 志津子
やなぎさわ しずこ

日常生活自立支援事業のサービスについて

Q1 どんな人が利用できますか？

A1 高齢者の方、精神障がいのある方、知的障がいのある方など判断能力が充分でない方や、日常生活を送る中での契約や金銭管理などの場面で、ひとりで判断することに不安のある方が利用できます。

Q2 どんなことをお手伝いしてくれますか？

A2 「基本サービス」と「選択サービス」の2つがあります。

基本サービス	選択サービス
○福祉サービスの利用援助 福祉サービスを安心して利用するためのお手伝いをします	○日常的な金銭管理サービス 日常のお金の出し入れのお手伝いをします
	○書類等の預かりサービス 大切な書類などを預かります

Q3 どれくらいの利用料がかかりますか？

A3 相談から契約締結までは無料です。契約後のサービスは有料です。(1回(1時間程度)1,500円)
※市町村民税非課税の方は1回(1時間程度)=1,000円
[徳島県社会福祉協議会が1回につき500円助成します]
※生活保護世帯の方は公費補助により無料です。

Q4 利用するにはどうすればいいですか？

A4 お近くの社会福祉協議会にご連絡ください。ご本人以外でも、ご家族、福祉関係者など代理の方でもかまいません。もちろんプライバシーや秘密は守りますので、安心してご相談ください。

ひろがる未来・つなぐ活動

料理提供のボランティア活動を通して徳島に貢献したい

徳島県調理師共栄会

昨年6月、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため平成13年から毎年実施してきた福祉施設での料理提供のボランティア活動を中止し、感染症対策に取り組む医療従事者へ感謝を伝えたいと徳島市内の医療機関に100食の弁当を寄贈された徳島県調理師共栄会。

会長の宮内好幸さんはボランティア活動への想いをこう語ります。「諸先輩方が引き継いでこられた伝統や料理に対する想いを守りながら、これからも料理を通して徳島に貢献していきたい」

コロナ禍により会員同士で顔を合やす機会が減ったため、少しでも各会員の現況や想いを聴こうと、会報を発行した時は会長自身で県内を回り、直接手渡しで配られているといいます。「以前のように、ビュッフェ形式など普段とは違うひとときを過ごしていただけるような料理提供ができる状況を再開したいと思っています。福祉施設の利用者の方々や未来を担うこどもたちの喜ぶ顔が見たいですね」

福祉施設の食堂で利用者の方々と会話を弾ませていたプロ料理人たち。ネクタイを締め、白衣を着て寿司や天ぷら、刺身を取り分ける姿はまさに新鮮そのものでした。料理提供の活動再開を心待ちにされている福祉施設や利用者も多いと思います。一刻も早いコロナの収束を願います。(明治36年に割烹共栄会として発足。日本料理に携わる県内の飲食店・宿泊施設・食品加工会社等の調理師約70名で構成されています。平成30年度徳島県社会福祉大会感謝状贈呈)



施設の外観

私は今、救護施設みよしの山荘という所で仕事をしています。仕事や住居がなく生活に困窮した方々を対象に、生活出来る場を提供し職業探しや住居探しを行い、自立することを目的にした施設です。利用者の中には知的障害や精神障害といったさまざまな方もおられるためトラブルになる事もあり職員で仲裁に入ったり、大変なこともありませんが、助けられること

も多く利用者の方にも感謝することも少なくありません。生活の利便性が向上した現在、さまざまな事情や問題を抱えた利用者も増えてきています。地域や多職種間での連携を大切にしていきたい、今のままで満足せず今後も経験を重ね自己研鑽に励み柔軟な対応が出来るよう努力を続けたいと思っています。

現在新型コロナウイルス感染症が流行しており、感染症予防対策などでありたいへんな思いをしている方も多く、元の生活に戻るまではまだまだ時間がかかりそうですが、これからも介護職員として利用者にも満足いく支援が出来たらな

私が福祉の道に入ったのは大分学を出てからの就職先の選択肢の1つとして、知人から紹介をいただいたことがきっかけでした。もともと違う分野の知識を学んできた私にとって福祉の分野に進み、人の役に立てるかなという不安はありましたが、仕事をしていくにつれて職場の上司や利用者の方から全く

分からなかった私に丁寧にいろんなことを教えてくれたのを覚えています。福祉や介護といった仕事は利用者の排泄支援など下の世話といった汚い・きついといったイメージを持たれやすい職種ではありますが、やりがいも多く感じることが出来、他の方からの助けもあって今まで仕事を続けてくることが出来ました。

また救護施設は介護とは無縁と思われた方もいると思いますが、近年施設利用者の高齢化が課題となっており、転倒などの事故防止の為に守りや介護が必要としている方も増えてきています。高年齢になれ施設での生活が難しくなってきた方については施設移行も行っています。高齢の方も



運動会の様子

ふくしと私



救護施設 みよしの山荘

介護職員 中川 智史
なかがわ ちし

地域とお客さまの「ベストパートナー」へ



阿波銀行
http://www.awabank.co.jp/

ともに未来へ
～ to the future with ... ～



徳島大正銀行
トモニホールディングス

テーマ募金にご支援ご協力をお願いします。

徳島県共同募金会

徳島県共同募金会では、令和4年1月から3月末にかけて、次の2団体が直接募金を呼びかける事業(テーマ募金)に取り組んでいます。このテーマ募金は、地域の様々な社会課題の解決に向けて、NPO法人等の活動に必要な資金をそれぞれの団体が主体的に募集する、新たな手法によるものです。皆様からの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いします。



テーマ募金の内容を紹介します。

知的障がいがあるひとたちとスポーツでつながる

認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・徳島

スペシャルオリンピックスの使命は、知的障がいのある人たちにスポーツトレーニングと競技の場所を提供し、健康を推進し、地域の人々と友情を分かち合う機会を継続的に提供することです。

徳島県内においてこの取り組みを拡大するために、ご支援をお願いします。



●募金目標額
30万円

生活困窮者に対する生活用品貸与(給付)事業 とくしま・くらしサポートセンター (県社会福祉協議会)

生活困窮者の就職活動等に向けた一歩を応援しています。この事業で取り扱う生活用品とは、スーツや自転車など、就職活動や就労継続のために必要な物のほか、炊飯器や電子レンジなど、自炊等に必要な物品のことです。皆様の応援をよろしくお願いします。



●募金目標額
10万円

つながりをたやさない社会づくり

～あなたは一人じゃない～



赤い羽根 徳島

検索

平時の取組を 災害にも強い福祉情報の活用力強化につなげる ～ICTの活用～

ICT技術を用いた福祉情報の活用を平常時からすすめることで、感染症流行禍や大規模な広域災害が発生した際のスムーズかつ安全・安心に配慮した要配慮者支援につなげたいと考えています。

徳島県社会福祉協議会では、サイボウズ(株)と締結した「平常時および大規模災害時における被災者支援活動等に関する協定」に基づき、ICTを用いた災害ボランティアセンターの設置運営訓練を行っています。

ボランティアの事前登録や当日受付を非接触で行ったり、要配慮者の情報や被災の様子をオンラインマップで共有し、効果的な支援につなげたりするなど、市町村社会福祉協議会でのシステム導入や新たなノウハウの蓄積が図られています。

また、よくある問合せをホームページに掲載するなどICTを活用して業務を省力化し、それで生じた時間を使って地域に出向き、より手厚い被災者支援に充てられるようになることにも期待が高まっています。

今後も先駆的な技術を取り入れながら、市町村社協とともに災害時にも強い福祉のまちづくりに取り組んでいきます。



災害ボランティアの事前登録・当日受付体験
(南部ブロック災害VC体制整備支援事業)

平成26年8月豪雨災害アーカイブス “あの夏を忘れない”

～地域住民と力を合わせた福祉支援活動(阿南市社協)～

平成26年8月。台風12号・11号の影響で、四国地方では、降り始めからの雨量が1,000ミリを超えるなど、8月の平均降水量の2～4倍となった。県内では、阿南市と海陽町、那賀町において床上・床下浸水被害が深刻な状況となり、災害ボランティアセンターを立ち上げた。(阿南市：8月4日立ち上げ)

阿南市社協では、日頃から地域福祉の推進に積極的に取り組んでいた阿南市ボランティア連絡協議会や阿南市民生委員児童委員協議会、地元の高校生などとともに、災害ボランティアセンターの立ち上げやその運営に関する協議を重ね、まずは住民の困りごと全般に目を向けたニーズ調査を行うこととした。ニーズ調査は、直接訪問に加え、電話やボランティア活動後の再調査等、丁寧な対応に努めた。日頃から顔見知りの住民同士の支え合い活動として展開したため、個々の繋がりの強みを活かした福祉支援活動となった。その後、さらなる台風の影響により被害範囲が拡大。住民感情にも配慮して被災された住民に近い場所にサテライトを設置し、8月20日の災害ボランティアセンター閉所まで、地域住民と力を合わせて取り組んだ。



ありがとうございます

預託一覧

●株式会社セブン-イレブン・ジャパン様より県内社会福祉協議会へ新型コロナウイルス対応に伴う生活支援としての菓子の御寄贈及び勝浦町社会福祉協議会へ店舗改装に伴う在庫商品の御寄贈

